

## 医学系研究に関する情報公開文書

研究課題名	進行肺癌の治療成績に関する後ろ向き観察研究
研究責任者	浜松医科大学 第二内科 教授 須田隆文
研究機関名	浜松医科大学 第二内科
研究目的と意義	進行肺癌治療において臨床因子および治療介入が治療効果や有害事象などの臨床的アウトカムに及ぼす影響を検討し明らかにする。
研究期間	西暦 2015 年 3 月（倫理委員会承認後） ～ 2015 年 12 月
研究方法	<p>●対象となる患者さん： 浜松医科大学第二内科にて 2000 年 1 月～2015 年 2 月までの期間に進行肺癌の診断で治療を行った方</p> <p>●研究に使用する試料： 過去の診療録（カルテ）から収集した情報（調査表 5 枚）</p> <p>●研究方法 過去の診療録から対象患者の臨床情報（身体所見、血液検査、病理検査、生理学的検査、画像検査などの各種検査所見）を収集し、行われた治療とその結果（治療効果および治療に伴う有害事象）との関連を統計学的に解析する。</p>
問い合わせ先	〒431-3125 浜松市東区半田山一丁目 20 番 1 号 浜松医科大学医学部附属病院 診療科：第二内科 呼吸器内科 担当者：柄山正人（臨床腫瘍学講座） TEL：053-435-2263 FAX：053-435-2719 E-mail：karayama@hama-med.ac.jp